

令和元年度 学校自己評価書

小美玉市立玉里中学校 校長 吉永成範

1 今年度の取り組みの概要

- | | |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 学校経営スローガン | 『玉中プライドと情熱をもって、夢を現実（かたち）に！』 |
| 2 学校経営の方針 | ①生徒の個性や持ち味を活かした「楽しく学べる学校」づくり
②課程や地域との連携を深めた「開かれた学校」づくり
③安心・安全の体制を確立した「信頼される学校」づくり |
| 3 学校経営の重点 | ○凡事徹底…当たり前のこと（やるべきこと）をやり遂げる
○参画…受け身や指示待ちでなく、意思をもって集団参加する
○全員力…生徒全員・教師全員の力を集結させる |

〈達成度 A：十分に達成 B：おおむね達成 C：達成せず D：課題が残る〉

◎ 学力向上グループ

組織目標 1	・生徒が主体的に学び, 思考を深め表現力を高めるための言語活動の充実を図る。 ・家庭学習の充実を推進する。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
学力診断テストの学年目標値 1年:国+1, 数+1 2年:国+3, 数+5 3年:国+3, 数+5	○基礎基本の習得や定着を図る指導 ・校内研修で一人1授業公開を実施 ○「主体的・対話的な深い学び」の授業づくり（協働して課題を解決する学習を通して）	今年度学力診断テストの対県指数は以下の通りである。 1年:国-1.2 △, 数 -0.8 △ 2年:国+3.2 ○, 数+14.4 ◎ 3年:国+4.1 ○, 数 +7.5 ◎	B
「学びに向かう姿勢」 75%以上達成	・「考え、議論する道徳」を基軸とした協働的な学びを積極的に取り入れた授業展開 ・小中合同の研修会の実施 ○TTの充実と工夫 ・授業の組み立てに関する共通理解	・協働的な学びを積極的に取り入れた授業改善が進んでいる。道徳、数学科などで共同立案も行われた。 ・生徒の学校評価アンケートでは、「学びたい」、「積極的な話し合い」に対する肯定的な回答はそれぞれ89.5%, 85.5%であった。	A
家庭学習実施率の学年目標値達成	○家庭学習の習慣化 ・家庭学習の手引き	・生徒の学校評価アンケートでは、「毎日家庭学習を十分にしている」と答えたのは、70.5% であった。	B

◎ 生活力向上グループ

組織目標 2	・「道徳の充実」と「み・そ・あ・じ」の徹底を通し、生徒相互が認め合い、高め合える集団をつくる。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
「みそあじ」の自己評価 80% 以上達成	○「み(身だしなみ), そ(掃除), あ(挨拶), じ(時間厳守)」の徹底	・生徒のアンケートでは、85.2%の生徒が「決まりやルールを守っている」と答えている。教員のアンケートでも、指導を十分しているという回答が多く、重点的に取組んだ成果が現れている。	A
いじめ・不登校者数の昨年比減	○いじめ、不登校解消の推進 ・いじめ撲滅集会の実施	・いじめは10件から6件・不登校は5件から7件である。重大な案件は発生していないが、認知を積極的に行う姿勢で、危機感をもつようにする。	B
道徳指導の充実	○道徳の時間の充実 ○ちょボラ活動の推進	・道徳の研究授業は、今年度、実施時数を確保している。 ・朝の奉仕活動の輪が広がりつつある。	B

◎ 健康・体力向上グループ			
組織目標 3	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の健康課題に気づき、改善していく能力を育成する。 ・体育・部活動を通して、体力の向上を図る。 		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
体力テスト A+Bの維持	<ul style="list-style-type: none"> ○体育・体育的行事の工夫 ○保健指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・かぜ・感染症予防のためのうがい 手洗い、マスク着用の励行 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力テストA+Bは昨年度72.6%から本年度71.4%となった。また、下位生徒の数値であるD+Eの値は10.9%で、昨年の値より若干増加した。数値は向上してないが、体力の継続はできている。 	A
自己管理力の 育成（ケガ・事 故発生数の昨年 比5%減）	<ul style="list-style-type: none"> ○安全管理・安全指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の3回実施 ・毎日の交通安全登下校指導実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健室の来室人数（外科）を比較すると、1月末現在、昨年度255件、本年度266件と微増となった。しかし本年度も重大な事故は発生していない。 	A
規則正しい生 活習慣の確立（朝 食摂取率の100% 達成）	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動の適正な実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒アンケートによると「早寝、早起きを心がけ、毎日朝食をとっている」と答えた生徒は92.2%であった。規則正しい生活習慣の確立が図られている。家庭の協力も不可欠である。 	B

2 今年度の成果と次年度に向けた課題

学力については、全国学力・学習状況調査や県学力診断のためのテストにおいて、ほとんどの教科で全国や県の平均を上回る学力を示している。今後は、「主体的・対話的で深い学び」へつなげるための更なる授業改善が必要となる。道徳を軸に校内研修の充実に努めた。外部から文科省の事業に携わった講師を招聘し、授業改善に努めた。「考え、議論する道徳」を意識した授業が行われている。家庭学習の定着率は、本校の大きな課題である。次年度も継続指導が必要である。

生活力については、基本的な生活習慣定着率は高い値を示しているが、教師側が期待する生徒の姿までは到達していない部分もある。生徒ともに、学校生活のルールづくりを行うなどして、生徒に自分事としてきまりについて考える機会をつくり、規範意識の向上をさらに図っていききたい。いじめの認知件数は横ばいで、継続している案件もない。適切な対応ができているが、認知を積極的に行う意識を持ち、危機感を抱いて生徒の生活を見守りたい。不登校に関してもほぼ横ばいではあるが、生徒指導主事を中心に組織的な対応を行い、関係機関との連携も図っていききたい。

健康安全については、体力テストのA+Bの数値は上昇こそしなかったが、高い水準は保っている。D+Eの下位生徒の数も少なく、全体的に体力は高い水準を維持できている。授業等のさらなる工夫をしていきたい。部活動の指針に準じて、部活動指導の工夫改善を進めていく。保健室の来室生徒数は昨年度と比較すると微増したが、健康管理への意識は高い。「早寝、早起きを心がけ、毎日朝食をとっている」生徒がほとんどで、規則正しい生活習慣の確立が図られている。今後は、個別指導が必要と思われる数名の生徒への働きかけと保護者への協力依頼を継続していく。

3 保護者や地域の皆様へ

本校は、「たくましく まごころあふれる りりしい生徒の育成」を学校の教育目標として掲げ、「凡事徹底」「参画」「全員力」を重点に、学校づくりを行っています。

本年度も、体育祭、緋秋祭をはじめ各行事で生徒たちが活躍し、感動的な場面を数多く創ることができました。「参画」「全員力」を意識した取組を続けている成果と考えます。特に体育祭では、開催場所の変更の大きな影響もなく、素晴らしい成果を上げることができました。御理解御協力ありがとうございました。また、学力向上に向け、校内研修の充実に図りました。各方面から本校の生徒の学ぶ姿に多くの賞賛の声をいただいております。これも日頃からの皆様の本校の教育活動に対する支えによるものと、心より感謝申し上げます。子供たちの成長を支えるのは、学校・家庭・地域の信頼関係だと考えます。皆様の一層の御支援をお願いいたします。